

「第4回 ESD 公開学習会」のお知らせ

## 持続可能な社会と学力

# 現行及び次期の学習指導要領をめぐって

「国連 持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」の最終年を迎えた現在、持続可能な社会をつくる学びや学力とは何か — という問いが重要性を帯びてきています。この問いへの応答の試みとして、日本国際理解教育学会（国際委員会）では、下記のとおり、ESDに関する公開学習会（講演会）を開催します。

第4回目となる今回の公開学習会では初めてゲストをお迎えし、これからの社会にとって大切な学力とは何かについて考えます。また、近年、産業界のみならず、教育界でも注目されようになった「グローバル人材」についても再考する機会にできればと考えています。ふるってご参加ください。

### 記

- ・ 講演：「持続可能な社会と学力：現行及び次期の学習指導要領をめぐって」
- ・ 講演者：安彦忠彦 名古屋大学名誉教授／神奈川大学特別招聘教授
- ・ 日時：2014年7月30日（水）午後4時～6時半（開場：3時半～）
- ・ 場所：聖心女子大学 宮代ホール  
（学内の駐車場は使用不可ですので電車かバスでお越し下さい。  
アクセス：<https://www.u-sacred-heart.ac.jp/access/>）
- ・ 対象：ESD全般、特にESDの学力論に関心のある方、どなたでも
- ・ 定員：100名
- ・ 主催：日本国際理解教育学会／聖心女子大学 永田佳之研究室
- ・ 参加費：500円\*（資料代）\*学生は無料
- ・ 申込み：件名に「第4回ESD公開学習会参加」と明記し、  
ご所属・お名前をメールにて下記（申込先）のアドレスにお知らせ下さい。
- ・ 講師プロフィール

安彦忠彦：名古屋大学教授、早稲田大学教育総合科学学術院特任教授を経て現在、名古屋大学名誉教授、神奈川大学特別招聘教授。専攻は教育課程（カリキュラム）論。2005年より中央教育審議会委員として現行及び次期学習指導要領の策定に関わる。これからの教育は「持続可能な発展」を意識することが重要であることを説き、持続可能な社会と学力に関する課題を提起している。『教育課程編成論：学校は何を学ぶところか』（放送大学教育振興会）など、著作多数。

\* 申込み先：

永田佳之（[yoshy@pobox.com](mailto:yoshy@pobox.com)）

日本国際理解教育学会 国際委員会 委員長

聖心女子大学 教授／ユネスコ本部ESDモニタリング評価専門家会合 委員